

建設通信新聞

UAV計測の 先進事例共有

日測協が実務者
向けセミナー

日本測量協会(清水英範会長)は6日、東京都港区の品川フロントビルで実務者向けセミナー「一歩進んだUAV利活用事例」を開いた。写真。会場には約100人が参加し



たほか、約400人がオンライン受講した。

セミナーでは、同協会の住田英二専務理事が「UAV(無人航空機)は、いまや測量の手段の中心的存在といっても過言ではない。これまでさまざまに取り組んできた事例を今日はぜひ多くの皆さんと共有してもらい、今後さらなる利活用に生かしてほしい」と呼び掛けた。

この後、UAVを活用した3次元計測技術の最新動向とともに、「佐渡金銀山」の世界遺産登録に向けた関連施設の測量調査でのUAVと各種レーザーを併用した活用例や、UAVレーザー測量と地上レーザー測量を組み合わせた公共測量事例などを、協会認定講師を務める会員企業の担当者らが詳しく説明した。